



# クラス通信



木田幼稚園  
令和5年2月号

あと数日で3月を迎えようとしていますが、まだまだ体を震わせる日が続いています。園庭でマラソンに励んだり、縄跳びをしたり・・・お子様の耳や手が真っ赤になるほどの寒さですが、子どもは風の子という言葉がぴったり！元気いっぱいな毎日を過ごしています。

## ☆節分 豆まき

3日（金）に豆まきを行いました。各クラスで製作した鬼のお面を身に付け、自分たちで鬼を倒すぞ！という思いを込めて新聞紙を丸めて作った豆を持ち園庭で鬼を待ち構えます。和太鼓の音が聞こえると「泣き虫はいないか!おこりんぼはいないか！」と怖い声で皆の元に大きな鬼が登場！「鬼は外！福は内！」の掛け声と共に鬼退治をしました。

鬼の迫力に思わず涙するお子様もいましたが全員が日本の伝統行事を楽しむことが出来ました。



## ☆涅槃会

15日（水）はお釈迦様が亡くなられた日、涅槃会（ねはんえ）でした。

お釈迦様は皆が幸せになるためにはどうすればよいのか日々悩まれておりました。そして12月8日（成道会）にお悟りを開かれたのち、皆に教えを説いてくださりました。お釈迦様は亡くなる直前に「命あるものはすべて死んでしまう。いつまでも悲しんでいるのではなく、今後を幸せに生きる努力をすることが大切である」「自灯明（人を頼るのではなく自らを頼りにしなさい）法灯明（真実の教えをよりどころにしなさい）」のお言葉を残されました。また、理事長先生と5つの約束（①生き物を大切にする ②友達と仲よくする ③悪い事に気が付いたらすぐにやめる ④物を大切にする ⑤お手伝いを一日に一回はする）をし、お子様は心静かにお参りをしました。



## ☆ほし組

卒園まで早くも残り1カ月を切りました。

この一年を通して書写文字指導では一年生で習う漢字80文字のとめ・はね・はらいを意識し丁寧に書くことを又、Eeそろばんでは、数の足し算・引き算に興味を持ち、一人一人が自分で問題に取り組み達成感を味わうことをねらいとして取り組んできました。

小学校でのカリキュラムに向けて取り組んで来たプログラミングでは、正解は一つの方法ではなく、様々なパターンがある事を学び自分の考えたプログラミングを皆の前で自信をもって発言できるようになりました。

これまで取り組んできた事を活かしお子様達が自信を持って小学校に進学できるよう願っています。



## ☆ぺんぎん組

「先生、今日オセロやりたい!」「私は白チーム!」12月頃より室内遊びでオセロゲームを始めると「ここに白を置くといいよ」「もっとたくさん取れる場所があるかな?」と皆で考えながらゲームを進め、楽しめるようになりました。

その他、年長組進級に向けて「百人一首」や「将棋」にも取り組みどのお子様も進級を心待ちにしています。ぺんぎん組での生活もいよいよ1カ月足らずとなりました。一人ひとりが胸を張り、笑顔で終了式の日を迎えられるようにしていきます。



## ☆りす組

1月から始まったお当番活動。4グループに分かれ、各グループのお当番さんが机拭きやお給食の配膳等毎日たくさんのお当番をしています。「先生、今日は何のお手伝いをする?」「僕がやりたい!」など積極性にあふれ、喜んでもらう喜びを感じることが出来ました。

年中組進級に向け自分の事だけでなく、相手の事も思いやりながら関わりを楽しめる様に過ごす毎日。2学期までは自分が一番でいたいという気持ちが先走っていましたが、今では「お先にどうぞ」という譲り合いが出来る様になりました。この気持ちを大切に、残り少ないりす組での生活を楽しく過ごしていきます。



## ☆きりん組

個々の遊びをしていたお子様達も最近ではお友達を意識できるようになりお友達同士の会話や遊びを楽しむ毎日です。「〇〇ちゃん遊ぼう!」「〇〇くん、一緒にここでお給食食べようよ!」と集団での活動や遊びの楽しさや喜びを感じる様子が見られます。

一人ひとりの表情やしぐさ、言葉にも日毎に頼もしさや自信があふれ心もぐんと成長している様子です。基本的な生活習慣の自立に向けても食事・排泄・衣類の着脱・身の回りの整理整頓など自ら取り組み、随分確立してきました。

ご家庭でも自分でできる事は自分で取り組む機会を作り、温かく見守り意欲を伸ばしてください。

